

# 完了後の評価個表

整理番号 8 - 1

事業名	(林業地域総合整備事業) 森林居住環境整備事業	都道府県	宮崎県
地区名	西米良地区	事業実施主体	宮崎県、西米良村
関係市町村	西米良村	管理主体	西米良村
事業実施期間	H12 ~ H16 (5年間)	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	<p>位置等 当地区は、九州山地東側の宮崎県中央山間部に位置しており、西側は熊本県と接し椎葉村、西都市及び小林市に囲まれている県内有数の林業地帯である。</p> <p>森林の状況 当地区の森林面積は25,988ha、民有林面積は25,569ha(98%)で、そのうち人工林は12,644haで48.6%を占めており、間伐等の森林整備が必要となる 齢級から 齢級の森林は4,345haで34.3%である。</p> <p>また、保安林として、主に水源かん養保安林に10,976ha、土砂流出防備保安林に1,043haが指定されており、適正な整備による森林の公益的機能の高度発揮が期待されている。</p> <p>当地区を整備する目的・意義 これまでに12,644haの人工林が造成され、森林蓄積は着実に増加しており、適正な森林整備が求められていたが、森林整備を効率的に実施するための基盤となる林道等の路網が未整備であったため、林道の開設等を実施した。 木材等林産物の運搬に供されるとともに上米良地区住民の通勤、通学等日常の生活道としての利用を目的として集落林道の開設を実施した。 村所地区において、林業者等集落住民の労働環境の整備及び地域住民の憩いの場としての利用を目的として林業集落内健康増進広場整備を実施した。</p> <p>(事業概要) 森林基幹道整備 上米良・大平線 車道幅員3.0m 開設延長3,926m 利用区域面積 1,943ha 長谷・児原線 車道幅員4.0m 開設延長1,467m 利用区域面積 676ha 米良・椎葉線 車道幅員4.0m 改良延長 354m 集落林道整備 檜の口・山の口線 車道幅員3.0m 開設延長1,683m 利用区域面積 388ha 合崎線 車道幅員3.0m 開設延長 477m 利用区域面積 35ha 林業集落内健康増進広場整備 村所地区健康増進広場 運動広場整地 総事業費 2,015,920千円 (当初総事業費 848,770千円)</p>
----------	---

費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成22年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。なお、路線の追加に伴い事業計画を変更したため、総事業費が増加している。</p> <p>総便益(B) 3,436,015千円 総費用(C) 3,333,773千円 効果分析(B/C) 1.03</p>
-----------------------	---

事業効果の発現状況	<p>林道整備により、施業地までの到達時間の短縮及び作業コストの低減が図られ、事業着手前5年間の森林整備面積約114haに対し、事業完了後5年間は約141ha(1.2倍)に増加した。</p> <p>健康増進広場の整備により、集落住民の健康への意識が向上し、地区の定期的なイベントが年6回開催されるなど広く利用されている。</p>
-----------	--

事業により整備された施設の管理状況	<p>林道は、西米良村が定めた林道管理条例に基づき、適切に管理され、年数回の草刈りや側溝清掃、路面の整正等が行われ良好な維持管理状況にある。</p> <p>健康増進広場は、西米良村の施設として適切に維持管理されており、地元自治会や地域住民等による草刈りなどが行われている。</p>
-------------------	--

事業実施による環境の変化	<p>林道整備により、森林施業地までの到達時間の短縮等により林業従事者の労働条件の改善や作業コストが低減され、森林所有者の森林経営に対する意欲が向上している。</p> <p>林道整備による野生動植物の生息・生育環境の悪化、渓流水の流量の減少、土砂流出による濁水の発生などの影響は見受けられない。</p> <p>健康増進広場の整備により、地区のイベントが定期的開催されるようになるなど地域住民の健康への意識が向上した。</p>
--------------	--

社会経済情勢の変化	<p>路網の整備により高性能林業機械が導入され、効率的な森林施業による労働強度の軽減が図られるとともに、森林組合において新たに労働者が雇用されるなど、雇用の拡大が図られている。</p>
-----------	--

<p>今後の課題等</p>	<p>森林整備に対する森林所有者の意欲向上が徐々に増進されたものの、長期的な木材価格の低迷等により間伐等の実施状況は十分とは言えないことから、所有者に対する森林施業実施の普及啓発等を継続的に行い、積極的な森林施業の実施を促進する必要がある。</p> <p>また、事業により整備された施設については、引き続き適切な維持管理を行っていく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地元の意見： 本村は、県内でも有数の林業地域であり、豊富な森林資源を活用するため、骨格となる林道の整備を重点的に進めているが、いまだ未開通である森林基幹道の整備が急務となっている。（宮崎県） 林道等の整備に伴い、これまで手の行き届かなかった森林へのアクセスが可能となり、生産コストの低減及び労力の軽減が図られ生産環境が改善された。今後は、地域と連携し森林整備の推進に努めたい。（西米良村） 健康増進広場については、老人クラブや子供会による定期的なイベント、運動不足解消のためのウォーキングなど、地元住民の健康増進施設として有効に活用されており、今後とも西米良村が中心となり、適切な施設の維持管理に努めていただきたい。（村所地区自治会）</li> </ul>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 森林施業を効率的に行う基盤となる路網整備、森林レクリエーション施設へのアクセス性の高い林道の整備及び山村の活性化を目的とした健康増進施設整備が求められていたことから、事業の必要性が認められる。</li> <li>・ 効率性： 現地に応じた工種・工法が採用されるとともに、事業実施にあたっては線形を波形線形にすることにより切土量の抑制や補強土壁工による現場内発生土の活用などによりコスト縮減が図られたことから、事業の効率性が認められる。</li> <li>・ 有効性： 林道整備により森林へのアクセスが容易となり、作業効率が向上し、森林整備が促進されており、今後とも一層の効果の発現が見込まれる。また、運動広場の整備により住民の健康増進等地域の活性化に貢献しており、事業の有効性が認められる。</li> </ul>

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

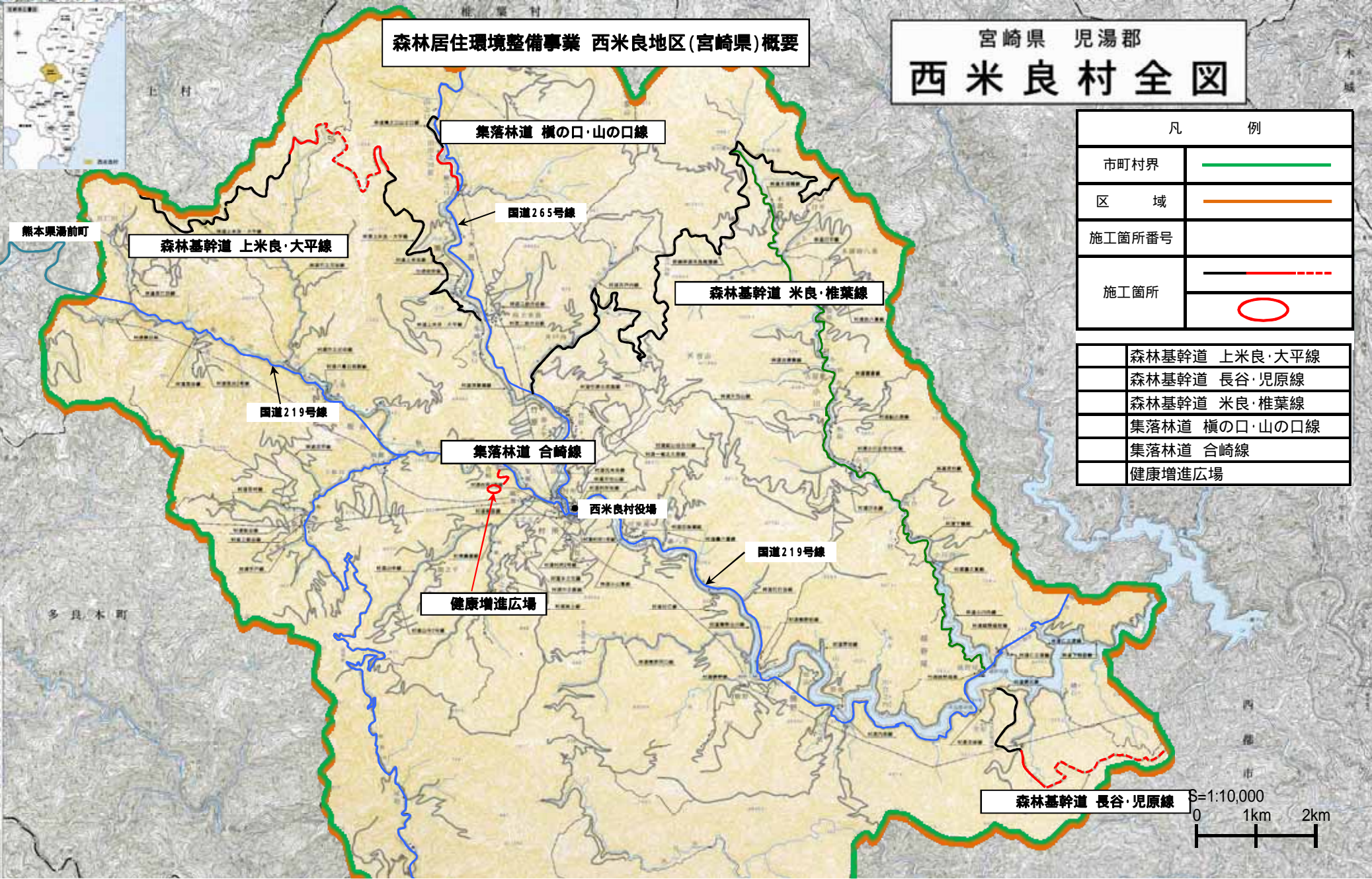
事業名: 森林居住環境整備事業  
地区名: 西米良

宮崎県  
(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	49,273	
	木材利用増進便益	175,045	
	木材生産確保・増進便益	559,604	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	998,402	
	森林整備促進便益	1,182,814	
森林の総合利用便益	フォレストアメニティ施設利用便益	381,731	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	89,064	
維持管理経費縮減便益		82	
総 便 益 (B)		3,436,015	
総 費 用 (C)		3,333,773	
費用便益比	$B \div C = \frac{3,436,015}{3,333,773} = 1.03$		

森林居住環境整備事業 西米良地区(宮崎県)概要

宮崎県 児湯郡  
西米良村全図



凡 例	
市町村界	
区 域	
施工箇所番号	
施工箇所	

	森林基幹道 上米良・大平線
	森林基幹道 長谷・児原線
	森林基幹道 米良・椎葉線
	集落林道 槇の口・山の口線
	集落林道 合崎線
	健康増進広場

S=1:10,000  
0 1km 2km